



日進北小だより

平成28年9月1日 9月号 第5号

電話 048 (663) 1842 FAX 048 (663) 9884

<http://nisshinkita-e.saitama-city.ed.jp/>

学校教育目標 ; ○進んで学ぶ子 ○思いやりのある子 ○健康な子

努力し、全力を出し切り、感謝する

校長 中村 勝光

8月6日・7日は「大宮日進七夕まつり」でした。今年も、児童がデザインを考え、PTAの行事委員会や役員の方々に作製していただきました。当日の設置や管理には「おやじかい」の皆様のご協力もいただきました。ありがとうございました。その成果が認められ、「団体の部 織姫賞（日進一丁目自治会会長賞）」をいただきました。

さて、今年の夏休みの話題は、何と言っても「リオデジャネイロ オリンピック」ではないでしょうか。成績にかかわらず、競技後の選手のインタビューを聞くと、ほとんどの選手が次の三つのことを言っていたと思います。まず第一に、オリンピック出場までに想像を絶するものすごい努力をしたことです。「このために毎日12時間練習した」とか「何度もやめようと思った」などです。第二に、試合で実力を出し切ることができたかどうかです。実力を出し切った選手はすっかりしているようですが、出し切れなかった選手は、悔しそうでした。第三に、指導者や支えてくれた家族への感謝です。特に家族への感謝の言葉を言っている時は目に涙をため、それを見て、思わずもらい泣きをしてしまいました。また、「団体競技」について考えさせられました。陸上男子400Mリレーは銀メダルに輝きました。しかし、個人種目の100Mでは、残念ながら決勝に残った選手はいませんでした。バトンパスのうまさ等技術的なことなども好成績の要因なのでしょうが、一人で「1」の力を持った選手が4人集まり、共に力や技術を磨き、心を合わせ、一つの目標に向かうと「5」や「6」の力を発揮するように思えてなりません。男女の卓球の団体、競泳のリレー、シンクロナイズドスイミングの女子チーム、男子の体操団体等でも同様のことを感じました。

児童にとってのオリンピックは、運動会です。まだまだ暑い日が続きますが、熱中症に注意しながら、運動会の練習を行います。特に、ダンスや踊りの「表現」では、難しい動きを何度も何度も練習します。間違えながら、友だちと注意し合い、励まし合い、音楽に合わせて自然に体が動くようになるまで練習します。本番では、自信を持って練習してきたことをすべて出し切ってもらいたいです。そして、演技が終わった時には、140人で踊っても200人分の表現力となって感動をみんなで味わうとともに、お弁当を作ってもらい、応援してくれた保護者への感謝を忘れないで欲しいです。